

平成 2 0 年 1 2 月 1 1 日
教育委員会会議室（秀栄ビル 2 階）

平成 2 0 年第 2 3 回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成20年第23回立川市教育委員会定例会

- 1 日 時 平成20年12月11日(木)
開会 午後 1時30分
閉会 午後 2時07分
休憩 午後 1時33分～1時34分
休憩 午後 1時48分～1時49分

- 2 場 所 教育委員会会議室(秀栄ビル2階)

- 3 出席委員 古 木 光 義 牧 野 征 夫
中 村 祐 治 宮 田 由 香
澤 利 夫

署名委員 中 村 祐 治

- 4 説明のため出席した者の職氏名

教育長	澤 利夫	教育部長	高橋 眞二
総務課長	小林 健司	学務課長	岡部 利和
指導課長	樋口 豊隆	生涯学習推進センター長	五十嵐 敏行
体育課長	伊東 幸吉	図書館長	清水 啓文

- 5 会議に出席した事務局の職員

総務課庶務係 久保 義彦 鈴木 啓史

案 件

1 議案

(1) 議案第36号 立川市社会教育委員の辞職の承認について

2 報告

(1) 立川市立小・中学校管理職の人事等について (秘密会)

(2) 市民体育館利用者調査報告書について

(3) 蔵書点検について

3 その他

平成20年第23回立川市教育委員会定例会議事日程

平成20年12月11日

教育委員会会議室

1 議案

(1) 議案第36号 立川市社会教育委員の辞職の承認について

2 報告

(1) 立川市立小・中学校管理職の人事等について(秘密会)

(2) 市民体育館利用者調査報告書について

(3) 蔵書点検について

3 その他

午後 1時30分開会

開会の辞

古木委員長 ただいまより、平成20年第23回立川市教育委員会定例会を開催いたします。
本日の案件は議案1件、報告3件、その他でございます。
議事録署名人は中村委員、よろしくお願いいたします。

議案

(1) 議案第36号 立川市社会教育委員の辞職の承認について

古木委員長 それでは、ご案内に従いまして、議案第36号 立川市社会教育委員の辞職の承認についてを議題といたします。

提案理由の説明を五十嵐生涯学習推進センター長をお願いいたします。

五十嵐生涯学習推進センター長 それでは、議案第36号 立川市社会教育委員の辞職の承認についてご説明いたします。

立川市社会教育委員に関する条例第3条第2項の規定により、立川市社会教育委員の辞職についてお諮りするものでございます。

現在の第25期の社会教育委員につきましては、ことしの7月1日から平成22年6月30日までの2年間の任期で委嘱しております。

委員の数につきましては、立川市社会教育委員に関する条例第2条によりまして、15人以内となっており、現在14人を委嘱しておりますが、そのうちの田中健一委員より一身上の都合により辞職願が出されましたので、その承認をお願いするものでございます。

田中委員は、現在3期目で、学識経験者として社会教育委員の会議の議長をお願いしているところでございます。

よろしくご審議をお願いいたします。

古木委員長 ただいま五十嵐生涯学習推進センター長より提案理由の説明がございました。
本件について、承認することにご異議ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

古木委員長 それでは、提案どおり田中健一氏の立川市社会教育委員の辞職を承認することにいたします。

報告

(1) 立川市立小・中学校管理職の人事等について(秘密会)

古木委員長 次に、報告に入ります。

報告1番、立川市立小・中学校管理職の人事等についてを議題とします。

本件は人事案件でございますので、秘密会としたいと思いますが、委員の方ご異議ございませんか。

〔「はい」との声あり〕

古木委員長 それでは、秘密会といたしまして、暫時休憩いたします。

午後 1時33分休憩

午後 1時49分再開

古木委員長 それでは、休憩をといて会議を再開いたします。

報 告

(2) 市民体育館利用者調査報告書について

古木委員長 報告2の市民体育館利用者調査報告書についてを伊東体育課長よりご報告願います。

伊東体育課長 それでは、市民体育館の利用者調査報告書についてご報告を申し上げます。調査の目的でございます。

本調査は、体育館を利用されている市民等の皆様のご意見を伺いまして、スポーツに対する考え方を把握しまして、第3次スポーツ振興計画の策定の基礎資料とするために実施をしたものでございます。

調査の対象者でございますけれども、泉・柴崎の市民体育館を利用する市民の方々でございます。

調査期間でございますけれども、平成20年9月1日から9月30日。

調査方法につきましては、調査用紙を配布して、自由に記入をしていただいております。

調査の回収結果でございますけれども、1カ月で回収総数466名、男性194名、女性225名、どちらかわからない方が47名というところで調査を行ったところでございます。

それでは、主な内容についてご説明を申し上げます。

本調査につきましては、6項目でお願いをしてアンケートをとってございます。

アンケートの集計につきましては、各設問ごとの調査欄の集約と、各設問の年代ごとの集計ということで分析をしてございます。

それでは、1問目でございます。

「あなたは、ご自分の健康についてどのように感じていますか」という質問に対しまして、大いに健康、どちらかという健康を合わせると403人で、約89.4%となっております、余り健康ではないという方は39人、7.6%ということになってございます。

年代ごとの集計では、高齢者層では、どちらかという健康、大いに健康ということでございますが、20、30代まで余り健康でない、余り意識がないという傾向があらわれている状況でございます。

私ども体育課といたしましては、この39人の方というところにスポットを当てなきゃいけないのかなというところで考えております。

2番目でございます。「あなたは、ご自分の体力についてどのように思われますか」ということございまして、体力に自信、普通の体力と言われる方が384人で約85.7%ということで、大方の方は体力に自信があるということでございますが、若い方、健康に不安があるという若い方の層、あるいは体力に不安のある高齢者の層の方が、スポーツを行うことで健康づくりや体力回復を図っていく、そういう目的でお使いになっているような状況にあるのかと思っております。

それから、3番目、「あなたは、普段から健康や体力の維持増進のため、心がけていることはありますか」というお尋ねをしてございます。

そういった中で、お答えの中で、食生活が290人で26.4%、睡眠等が206人で18.8%、スポーツや運動で310人で28.3%という集計結果になってございます。非常に健康に対しては意識が高いということでございますが、こちら高齢者の方は食生活や睡眠などに十分注意をしながらスポーツを行ってございますけれども、20代の方は余り食生活等は重視していないというような傾向があらわれているのかと思っております。

4番目、「あなたがスポーツや運動をしている理由は何ですか」ということでお尋ねしてございます。

これにつきましては、全体的に体力づくりが約3割、ストレス解消が2割という状況でございます。基本的には、スポーツは健康づくりが中心で、記録等の目的は少ないというのはアンケート結果にありまして、あとは、触れ合いといいますか、そういったものも主な理由として挙がってきているところでございます。

5番目、「あなたはスポーツや運動をだれとしますか」ということございまして、これにつきましては、いろいろ賛否両論あるところでございますが、年齢ごとの集計結果では、高齢者では、自分1人でスポーツを行っているという傾向で、組織化は余りされていないというふうな状況もありまして、そういう方が多いという状況にもありますけれども、体育館に来て、スポーツ教室やそういった仲間と集まって楽しくやられている方ということも見受けられますので、この辺については、一つのスポットなのかなと思っております。

最後、「あなたは、今後、スポーツや運動をさらに広めていくために、市としてどのようなことが重要だと思いますか」という質問でございます。

スポーツ施設の整備が230人で約23.6%、学校開放が124人で12.7%、合わせて354人ということで、施設の整備水準が非常に低いというご指摘をされているというふうに考えてございます。

年代ごとの集計結果では、高齢者層は、大会等の開催で十分健康づくりを行っておるし、またそういったものを求めておりますが、体育相談等の充実については求めておりまして、健康と相談体制が重要なのかなと思っております。

雑駁でございますが、以上報告とさせていただきます。

古木委員長 ありがとうございます。

ただいま伊東体育課長よりご報告の説明がありました。委員の皆さん、ご質問ございますか。

中村委員。

中村委員 9月1日から9月30日まで、回答総数466、大体1日から30日までどの程度の方が利用したうちの466ということはおわかりでしょうか。

古木委員長 伊東体育課長。

伊東体育課長 その全体の数についてはちょっと把握はしていなくて大変申しわけないんですけれども、全体的に1年で50万、体育館で20万ぐらいですので。ただ、このアンケートをお出しいただける方というのが、個人で利用されている方が主でございますので、総

数との対比はちょっとなかなか難しいのかなと思っております。

以上でございます。

古木委員長 中村委員。

中村委員 そうすると、この集計結果は、個人で利用している者の結果として受け取っていいんですか。

伊東体育課長 大きくはそういう形になるかと思います。

中村委員 そうすると、もう一つ質問。

古木委員長 どうぞ、中村委員。

中村委員 10代というのは、これ10代後半として受け取っていいんですか。学齢ですか、それとも。

古木委員長 伊東体育課長、わかりますか。

伊東体育課長 調査票は20代から丸をつけるようになってはいるんですが、10代の方もアンケートに記入していただいた方がいらしたので集計結果に載せてございます。

古木委員長 牧野委員。

牧野委員 Q6の中の、今後云々書いてありますね。その中で、60代、70代、これからもっと多くなっていくんですけども、番も115名の方が、年齢層に合ったニュースポーツの開発・普及を希望ということで、かなり立川の場合には、ニュースポーツは取り入れようと努力されていますけれども、この辺のその、まだ考えられるニュースポーツというものの開発、こういうものがやっぱりこれから多くなる60、70代の方に、私なんかもそうですけれども、あればいいなということがあります。

それから、学校、体育との関係、これは難しいんだろうなというふうに思いますけれども、簡単に学校の体育館に行って運動できるというのは、なかなか難しい、管理人がいても難しいんだろうなと思います。

そういう意味では、各体育館、それから、各施設等でのやはり普及というのは、これから考えていかなきゃいけないことだろうと思いますけれども、それは体協との絡みでぜひお考えいただければと、情報ですけれども。

古木委員長 伊東体育課長。

伊東体育課長 70代、60代のニュースポーツということで、今盛んに行われておりますのは輪投げとか、そういったものがかなり、たくさん的人数でおいでになってございますので、余り身体に強い影響がないようなニュースポーツ、そういったものを少し熟知していきたいというふうには考えております。

古木委員長 牧野委員。

牧野委員 もう少し障害者用のスポーツを置くようにというのは入っていないんですね。このところで、やっぱり障害者の方たちの、年齢も加齢になってきておりますので、さらにやっぱり体を動かしたいという方もいらっしゃるんですけども、なかなか機会が与えられないというふうなのがあったり、何をやっていいかわからないという、そういう方もい

らっしゃいますので、どうしてもやっぱりそういうところは考えていかなきゃいけない一つかなというふうに思うんですが、それはどうでしょうか。

古木委員長 伊東体育課長。

伊東体育課長 これもご意見を取り入れながら進めてまいりたいと思います。

古木委員長 以上でよろしいですか。ありがとうございます。

では、伊東体育課長、よろしくお願ひいたします。

報 告

(3) 蔵書点検について

古木委員長 次に、報告の3番、蔵書点検につきまして、清水図書館長よりご報告をお願いします。

清水図書館長 それでは、平成20年度の蔵書点検につきましてご報告いたします。

今年度の蔵書点検は、昨年度と同様の工程で、中央館につきましては、11月18日から22日まで、地区館につきましては、11月12日から15日までと、それぞれ5日間、4日間の休館日で実施し、日曜日から開館しております。

日程につきましては、7月に図書館情報システムの更新を実施した関係から、例年の6月ではなく、11月に実施しております。全館とも土曜日に開館準備ができたことから、来年度以降もそれぞれの点検日数で実施していきたいと考えております。

また、新規不明本につきましては、総数で1,415冊、中央館で92冊ふえ、地区館では325冊の増となり、西砂、高松につきましては、それぞれ減少しております。

蔵書点検の時期が図書館情報システムの更新に伴い、例年の6月ではなく11月に実施したことから、実質17カ月の期間があったために増加しているととらえています。

不明本につきましては、利用者のモラルの問題でもありますが、大事な市民の財産であることを強調しながら、再度利用者に呼びかけるなど周知に努めてまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

古木委員長 ご苦労さまでした。ありがとうございました。

何かご質問ございますか。

中村委員。

中村委員 高額図書が多いということなんですか、これは。

不明冊数と不明金額との関係ですよね。そが例年と比較していかがかなということは分かりますか。

古木委員長 清水図書館長。

清水図書館長 まず、冊数のほうですけれども、今若干補足いたしましたように、17カ月実際の時期がございますので、その下のところに12カ月とした場合には、実は1,000冊、19年度実績よりも少ないという形になっておりますが、これは金額の場合には、高額本が

入っているかどうかというようなことで大分開きが出ますので、金額自体でも、実質は、19年と比べましても、12カ月にならしますと、若干のプラスだけになっていますので、そんなに高額本が多かったというふうには考えておりません。

ただ、非常に雑誌等の部分もあったということがございまして、そこは磁気テープ等の部分がなかなかできない部分もございましたので、防止のところではちょっと頭の痛いところかなというふうな感じです。

古木委員長 中村委員。

中村委員 その種別によってかなり対策の方法が違うかなって考えたんですね。動機も違うでしょうし、その質問です。

古木委員長 清水図書館長。

清水図書館長 種別の問題は、ご指摘のとおり非常に頭の痛いところなんです。地区館等では、そういう、特に持ち帰りがあるようなものについては、カウンターのそばに置くとかいろいろな工夫は凝らしておりますが、すべてに磁気テープを張るとなると、かなりの金額と、それから作業量もふえますので、やはりどうしても雑誌等の部分で手薄なところはあるかなと思っておりますが、そこは工夫で何とかやっていきたいと考えております。

古木委員長 よろしいですか。

では、以上で報告を終わりにして、次にその他に移ります。

その他

古木委員長 その他については、樋口指導課長よりお願いいたします。

樋口指導課長 12月9日に東京都教育委員会より発表をされました平成20年度東京都教育委員会職員表彰についてお知らせをいたします。

東京都教育委員会は、本都の教育の発展、学術・文化の振興に貢献し、その功績が顕著な教職員及びすぐれた教育実践活動、研究活動を行っている学校グループを表彰しております。

本年度、東京都全体での個人表彰102名、学校16団体が表彰を受けます。

この中で、本市の立川第七中学校がボランティア活動の推進ということで表彰を受けることになりましたので、ご報告いたします。

古木委員長 大変すばらしいことですね。ありがとうございました。

ほかに、委員の方からのその他、ございますか。

閉会の辞

古木委員長 ございませんようでしたので、本日の案件はすべて終了いたしました。

次回は12月25日、13時30分より当会議室におきまして第24回の定例会を開催いたします。

以上で、本日の定例会は終了といたします。

閉会いたします。ご苦労さまでした。ありがとうございました。

午後 2時07分閉会

署名委員

.....

委員長